



2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年8月1日

上場会社名 アステラス製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 安川 健司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・アドボカシー & リレーションズ部長 (氏名) 池田 博光 (TEL) 03(3244)3201

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	381,791	17.1	33,147	△8.2	31,679	△11.6	24,812	△19.1	24,812	△19.1	134,396	271.2
2022年3月期第1四半期	326,143	6.2	36,090	△40.7	35,830	△40.5	30,687	△39.1	30,687	△39.1	36,206	△34.7
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2023年3月期第1四半期	13.59				13.59							
2022年3月期第1四半期	16.56				16.55							

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,481,843	1,539,052	1,539,052	62.0
2022年3月期	2,332,395	1,460,308	1,460,308	62.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	25.00	-	25.00	50.00
2023年3月期	-				
2023年3月期(予想)		30.00	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,443,000	11.3	269,000	72.8	267,000	70.2	208,000	67.6	208,000	67.6	113.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,443,000	11.3	290,000	18.5	223,000	17.0	122.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) アステラス ファーマ テック株式会社

(注) アステラス ファーマ テック株式会社は、2022年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期第1四半期	1,835,851,575株	2022年3月期	1,835,851,575株
② 期末自己株式数	2023年3月期第1四半期	13,272,329株	2022年3月期	8,777,623株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期第1四半期	1,825,051,313株	2022年3月期第1四半期	1,852,848,995株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(四半期決算説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2022年8月1日(月)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けに説明会(ライブ動画配信+電話会議)を開催する予定です。この説明会の内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第1四半期（2022年4月1日から6月30日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。
売上収益は増加した一方、コア営業利益及びコア四半期利益は減少しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2022年3月期)	当第1四半期 (2023年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	326,143	381,791	+55,647 (+17.1%)
売上原価	62,231	88,870	+26,639 (+42.8%)
販売費及び 一般管理費	137,109	153,396	+16,287 (+11.9%)
研究開発費	58,313	74,007	+15,695 (+26.9%)
無形資産償却費	5,963	10,745	+4,782 (+80.2%)
持分法による投資損益	292	350	+58 (+19.8%)
コア営業利益	62,820	55,292	△7,527 (△12.0%)
コア四半期利益	49,241	45,843	△3,399 (△6.9%)
基本的1株当たり コア四半期利益（円）	26.58	25.12	△1.46 (△5.5%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、当社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

- ・ 前立腺がん治療剤XTANDI／イクスタンジ及び急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタの売上が引き続き拡大しました。
- ・ 尿路上皮がん治療剤パドセブは米国と日本で大きく伸長したことに加え、欧州において発売国が増加したことで売上が拡大し、増収に寄与しました。
- ・ 加えて、過活動膀胱（OAB）治療剤ベタニス／ミラベトリック／ベットミガや免疫抑制剤プログラフの売上が拡大したほか、日本における骨粗鬆症治療剤イベニティの売上が伸長し、売上収益に貢献しました。

以上の結果、売上収益は、3,818億円（前年同期比17.1%増）となりました。

【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は、2,929億円（同11.0%増）となりました。売上原価率は、グループ間取引における未実現利益消去に伴う為替の影響（同123億円増）が主な要因となり、前年同期に比べ4.2ポイント増加し、23.3%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、1,534億円（同11.9%増）となりました。製品ポートフォリオの変化に伴うグローバルでの要員最適化による費用の減少（同約30億円減）、成熟製品における費用の削減（同約20億円減）があった一方で、為替の影響（同167億円増）、新製品の立ち上げ及び発売準備費用の増加（同約20億円増）などにより、総額として増加しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、1,103億円（同7.4%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、740億円（同26.9%増）となりました。為替の影響（同75億円増）に加え、通期予想に織り込み済みの一時的な費用を計上したことにより、総額として増加しました。
- ・ 無形資産償却費は、107億円（同80.2%増）となりました。

以上の結果、コア営業利益は553億円（同12.0%減）、コア四半期利益は458億円（同6.9%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第1四半期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前第1四半期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては355億円の増加、コア営業利益においては74億円の減少の影響がありました。

期中平均レート	前第1四半期	当第1四半期	変動
米ドル/円	109	130	20円安
ユーロ/円	132	138	6円安

期首・期末の変動	前第1四半期	当第1四半期
米ドル/円	0円高	14円安
ユーロ/円	2円安	8円安

<連結業績（フルベース）>

当第1四半期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。
売上収益は増加した一方、営業利益及び四半期利益は減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当第1四半期における「その他の収益」は163億円（前年同期：4億円）、「その他の費用」は384億円（同：271億円）となりました。

「その他の収益」として、為替差益を141億円（同：3億円）計上しました。「その他の費用」として、遺伝子治療プログラムAT702、AT751、AT753の研究開発中止に伴う無形資産の減損損失（220億円）を計上したことに加え、fezolinetantの米国承認申請に伴い条件付対価に係る公正価値が増加したため、その増加分（136億円）も計上しました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第1四半期 (2022年3月期)	当第1四半期 (2023年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	326,143	381,791	+55,647 (+17.1%)
営業利益	36,090	33,147	△2,943 (△8.2%)
税引前四半期利益	35,830	31,679	△4,152 (△11.6%)
四半期利益	30,687	24,812	△5,875 (△19.1%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	16.56	13.59	△2.97 (△17.9%)
四半期包括利益	36,206	134,396	+98,190 (+271.2%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第1四半期 (2022年3月期)	当第1四半期 (2023年3月期)	増減率
XTANDI/イクスタンジ	1,329	1,624	+22.2%
パドセブ	42	106	+151.6%
ゾスパタ	83	105	+26.3%
エベレンゾ	6	7	+19.3%
ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ	440	479	+9.0%
プログラフ*	452	518	+14.6%

*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

<XTANDI/イクスタンジ>

- ・ 販売している全ての地域で売上が増加しました。特に、米国において前年同期と比べて大きく伸長しました。また、欧州において、転移性ホルモン感受性前立腺がん（M1 HSPC）（2021年4月適応追加）での処方拡大したことに加え、新たに保険償還が開始された国が増加し売上に貢献しました。

<パドセブ>

- ・ 米国での共同販促収入が伸長しました。2021年11月に発売した日本においては、想定以上にマーケットシェアが拡大し、大きく売上が増加しました。2022年4月に承認を取得した欧州においても、発売国が増加し、想定を上回る立ち上がりを示しました。

<ゾスパタ>

- ・ 中国では売上が減少しましたが、それ以外の全ての地域において売上が増加しました。

<エベレンゾ>

- ・ 前期に引き続き、日本においては市場での競合激化の影響を受け、欧州においては既存の標準治療薬との差別化が十分に浸透しておらず、売上は想定を下回りました。

<ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ>

- ・ 日本では売上が減少しましたが、それ以外の全ての地域では売上が増加しました。

<プログラフ>

- ・ 日本以外の地域で売上が伸長し、グローバルの売上は通期予想に沿って推移しました。

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。米国、エスタブリッシュドマーケット、グレーターチャイナ及びインターナショナルマーケットは増加した一方、日本は減少しました。

(単位：億円)

	前第1四半期 (2022年3月期)	当第1四半期 (2023年3月期)	増減率
日本	675	668	△1.0%
米国	1,336	1,609	+20.4%
エスタブリッシュド マーケット*1	780	887	+13.7%
グレーターチャイナ*2	164	232	+41.0%
インターナショナル マーケット*3	278	318	+14.5%

*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

*3 インターナショナルマーケット：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末(2022年6月30日時点)の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

【資産】

当第1四半期末における総資産は2兆4,818億円(前期末比1,494億円増)となりました。

<非流動資産>当第1四半期末:1兆4,926億円(同835億円増)

- ・有形固定資産は2,802億円(同111億円増)となりました。
- ・のれんは3,343億円(同312億円増)、無形資産は6,398億円(同164億円増)となりました。

<流動資産>当第1四半期末:9,893億円(同659億円増)

- ・現金及び現金同等物は3,130億円(同30億円減)となりました。

【資本】

資本合計は、1兆5,391億円(同787億円増)となり、親会社所有者帰属持分比率は62.0%となりました。

- ・四半期利益248億円を計上した一方で、剰余金の配当457億円を実施しました。

【負債】

負債合計は、9,428億円(同707億円増)となりました。

<非流動負債>当第1四半期末:2,023億円(同176億円増)

- ・その他の金融負債は1,116億円(同157億円増)となりました。

<流動負債>当第1四半期末:7,405億円(同531億円増)

- ・その他の金融負債は2,065億円(同215億円増)となりました。そのうち、当第1四半期末の1年以上返済予定の長期借入金及び社債の残高は1,550億円(同150億円増)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

- 当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、488億円（前年同期比87億円増）となりました。
- ・ 法人所得税の支払額は327億円（同224億円増）となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

- 当第1四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△191億円（同19億円支出減）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

- 当第1四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△466億円（同19億円支出増）となりました。
- ・ 配当金の支払額は457億円（同68億円増）となりました。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,130億円（前期末比30億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。当期（2023年3月期）の通期連結業績予想は以下のとおりです。

2022年4月に公表した業績予想を据え置き、修正していません。

[連結業績（コアベース）]

(単位：百万円)

	通期実績 (2022年3月期)	通期予想 (2023年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,296,163	1,443,000	+146,837 (+11.3%)
販売費及び一般管理費	548,840	598,000	+49,160 (+9.0%)
研究開発費	246,010	254,000	+7,990 (+3.2%)
コア営業利益	244,744	290,000	+45,256 (+18.5%)
コア当期利益	190,584	223,000	+32,416 (+17.0%)
基本的1株当たり コア当期利益(円)	103.03	122.05	+19.02 (+18.5%)

(注) 基本的1株当たりコア当期利益の予想は、2022年3月末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しています。

[連結業績（フルベース）]

(単位：百万円)

	通期実績 (2022年3月期)	通期予想 (2023年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,296,163	1,443,000	+146,837 (+11.3%)
営業利益	155,686	269,000	+113,314 (+72.8%)
税引前利益	156,886	267,000	+110,114 (+70.2%)
当期利益	124,086	208,000	+83,914 (+67.6%)
基本的1株当たり 当期利益(円)	67.08	113.84	+46.76 (+69.7%)

(注) 基本的1株当たり当期利益の予想は、2022年3月末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しています。

[通期の想定為替レート]

2023年3月期（想定）：120円/米ドル、135円/ユーロ

2022年3月期（実績）：112円/米ドル、131円/ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	326,143	381,791
売上原価	△62,231	△88,870
売上総利益	263,912	292,920
販売費及び一般管理費	△137,109	△153,396
研究開発費	△58,313	△74,007
無形資産償却費	△5,963	△10,745
無形資産譲渡益	—	170
持分法による投資損益	292	350
その他の収益	403	16,291
その他の費用	△27,133	△38,436
営業利益	36,090	33,147
金融収益	1,457	927
金融費用	△1,717	△2,396
税引前四半期利益	35,830	31,679
法人所得税費用	△5,144	△6,867
四半期利益	30,687	24,812
四半期利益の帰属 親会社の所有者	30,687	24,812
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	16.56	13.59
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	16.55	13.59

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	30,687	24,812
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△2,935	981
確定給付制度の再測定	803	1,610
小計	△2,132	2,591
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	7,652	106,993
小計	7,652	106,993
その他の包括利益	5,520	109,585
四半期包括利益合計	36,206	134,396
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	36,206	134,396

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	269,044	280,179
のれん	303,030	334,260
無形資産	623,431	639,834
売上債権及びその他の債権	29,796	27,386
持分法で会計処理されている投資	10,035	11,735
繰延税金資産	72,331	92,100
その他の金融資産	91,844	94,284
その他の非流動資産	9,531	12,783
非流動資産合計	1,409,041	1,492,562
流動資産		
棚卸資産	153,072	164,828
売上債権及びその他の債権	382,462	438,413
未収法人所得税	21,539	18,140
その他の金融資産	21,297	23,746
その他の流動資産	28,997	31,141
現金及び現金同等物	315,986	313,013
流動資産合計	923,354	989,281
資産合計	2,332,395	2,481,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	179,467	179,045
自己株式	△13,934	△23,377
利益剰余金	944,261	924,981
その他の資本の構成要素	247,512	355,402
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,460,308	1,539,052
資本合計	1,460,308	1,539,052
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	676	4,870
繰延税金負債	5,823	6,201
退職給付に係る負債	37,226	36,334
引当金	5,831	7,695
その他の金融負債	95,886	111,621
その他の非流動負債	39,234	35,531
非流動負債合計	184,676	202,252
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	130,739	152,220
未払法人所得税	32,388	18,859
引当金	16,570	17,555
その他の金融負債	184,964	206,484
その他の流動負債	322,751	345,420
流動負債合計	687,411	740,538
負債合計	872,087	942,791
資本及び負債合計	2,332,395	2,481,843

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2021年4月1日残高	103,001	177,830	△15,377	953,289	745	147,024
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	30,687	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	7,652
四半期包括利益合計	—	—	—	30,687	—	7,652
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△713	—	—	—
自己株式の処分	—	△347	428	△52	△29	—
配当金	—	—	—	△38,914	—	—
株式報酬取引	—	174	—	—	—	—
振替	—	—	—	951	—	—
所有者との取引額合計	—	△173	△285	△38,015	△29	—
2021年6月30日残高	103,001	177,657	△15,663	945,961	717	154,676

2022年4月1日残高	103,001	179,467	△13,934	944,261	630	233,621
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	24,812	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	106,993
四半期包括利益合計	—	—	—	24,812	—	106,993
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△10,553	—	—	—
自己株式の処分	—	△1,000	1,109	△104	△5	—
配当金	—	—	—	△45,677	—	—
株式報酬取引	—	578	—	—	—	—
振替	—	—	—	1,689	—	—
所有者との取引額合計	—	△422	△9,444	△44,092	△5	—
2022年6月30日残高	103,001	179,045	△23,377	924,981	625	340,614

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計		
2021年4月1日残高	19,604	—	167,373	1,386,115	1,386,115
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	30,687	30,687
その他の包括利益	△2,935	803	5,520	5,520	5,520
四半期包括利益合計	△2,935	803	5,520	36,206	36,206
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△713	△713
自己株式の処分	—	—	△29	0	0
配当金	—	—	—	△38,914	△38,914
株式報酬取引	—	—	—	174	174
振替	△148	△803	△951	—	—
所有者との取引額合計	△148	△803	△979	△39,452	△39,452
2021年6月30日残高	16,521	—	171,914	1,382,869	1,382,869

2022年4月1日残高	13,261	—	247,512	1,460,308	1,460,308
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	24,812	24,812
その他の包括利益	981	1,610	109,585	109,585	109,585
四半期包括利益合計	981	1,610	109,585	134,396	134,396
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△10,553	△10,553
自己株式の処分	—	—	△5	0	0
配当金	—	—	—	△45,677	△45,677
株式報酬取引	—	—	—	578	578
振替	△79	△1,610	△1,689	—	—
所有者との取引額合計	△79	△1,610	△1,694	△55,652	△55,652
2022年6月30日残高	14,163	—	355,402	1,539,052	1,539,052

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	35,830	31,679
減価償却費及び無形資産償却費	18,144	36,872
減損損失(又は戻入れ)	26,052	22,035
金融収益及び金融費用	260	1,468
棚卸資産の増減額	8,256	4,113
売上債権及びその他の債権の増減額	△19,991	△16,747
仕入債務及びその他の債務の増減額	△13,163	△17,568
その他	△5,055	19,667
小計	50,333	81,519
法人所得税の支払額	△10,251	△32,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,083	48,832
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,352	△8,235
無形資産の取得による支出	△10,560	△10,024
無形資産の売却による収入	—	170
子会社の取得による支出	△648	—
利息及び配当金の受取額	135	287
その他	△660	△1,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,085	△19,144
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び短期借入金の増減額	—	15,000
自己株式の取得による支出	△713	△10,553
親会社の所有者への配当金の支払額	△38,914	△45,677
リース負債の返済による支出	△4,469	△4,690
その他	△634	△682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,730	△46,602
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,524	13,941
現金及び現金同等物の増減額	△24,208	△2,973
現金及び現金同等物の期首残高	326,128	315,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	301,920	313,013

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。